

道の駅「ふれあいパークみの」と香川大学（「地域インターンシップ」全学共通科目）の学生が連携して、地域食材を活かした商品開発の企画提案を行います。

①地元食材・料理をリサーチして利用できる商品開発の材料を把握

- ・三豊市は、フルーツ・魚介類が有名
- ・季節にあった材料を把握

反映

②地域食材を活かした商品開発の企画・提案

- ・全国道の駅・パンフレット等をもとにアイデアを提案
⇒フルーツまん、ゼリーに絞り込み
- ・たからだの里さいた、源平の里むれへの視察
- ・フルーツまん、お茶ゼリーのレシピと施策を実施

反映

発展

③試作品の反省を活かし再度施策の実施

- ・問題点の改善と、今後の課題

【特産品の把握】

三豊市の豊富な食材を活かして新規メニューを開発提案するために、学生自らリサーチするとともに、働いている方からの意見を聞き取り、今回の取り組みに反映します。

フルーツ王国三豊市の代表果物



【香川大学による地域インターンシップの目的】

香川大学では、低年次で地域に出向き、地域づくりの現場・しごとを理解し、地域課題解決への参画を通じて、①社会貢献、②課題探求・解決力の修得、③能動的学修を目指している。

インターンシップ報告会



【道の駅「ふれあいパークみの」について】

道の駅「ふれあいパークみの」は、新鮮な野菜と果物が毎日出荷される産直市を開催。温泉・宿泊施設も備え、四国霊場のお遍路が立ち寄る場所となっている。

地域特産の新鮮な果物

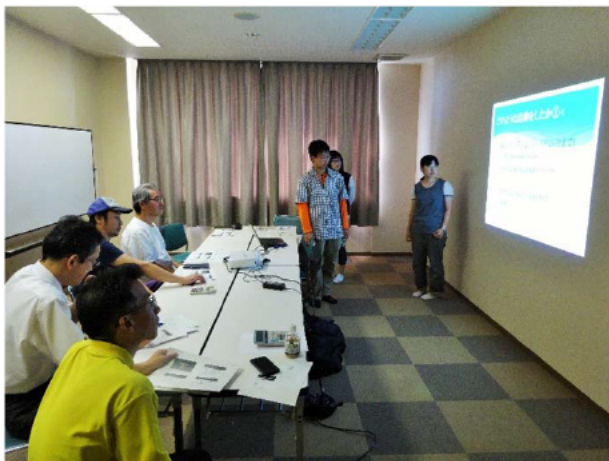


香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。「地域インターンシップ」もCOC事業において新設された科目です。

平成27年度 取組み内容：地域食材を活かした商品開発の企画・提案

取組み前の調査

●道の駅「ふれあいパークみの」での商品リサーチと提案の様子



●他の道の駅(源平の里むれ)への視察の様子



学生が「ふれあいパークみの」にて、三豊の地元食材を利用したオリジナル商品を提案しました。

三豊の食材リサーチ、道の駅やレストラン・カフェなどの商品リサーチを実施して、中間報告を行なったのちに商品を絞り込み、試作を重ねました。

●商品試作の様子1



●商品試作の様子2



●商品試作の様子3

